

2023 年 4 月 12 日

第 16 回新しい資本主義実現会議にあたっての意見

公益社団法人経済同友会
代表幹事 櫻田 謙悟

新しい資本主義の根幹である成長と分配の好循環を実現するには、リ・スキリングによる能力向上と成長分野への円滑な労働移動の円滑化、両者を結びつける職務給（ジョブ型雇用）の普及、働き方やキャリアに中立的な諸制度の整備が不可欠です。今般、こうした考え方の下に、「三位一体労働市場改革」として、指針の策定が進められていることを大変心強く思っています。

一方で、指針策定と支援の充実だけでは不十分であり、賃金などの雇用条件や労働を通じた社会課題解決への貢献のために、リ・スキリングや転職、キャリアコンサルティングへと、一人ひとりの労働者が実際に踏み出さなければ、好循環は実現できません。そのため、一人ひとりの労働者にアクションを促す観点から、今般の論点案について以下の通り意見を申し上げます。

1. 三位一体労働市場改革の KGI・KPI を

三位一体労働市場改革は、新卒一括採用・終身雇用という日本社会に根強く残る雇用慣行を大きく変える取り組みです。特に意識されることのないままに社会的に望ましいものとして広く定着している慣行を変革していくためには、めざす将来像を提示することで、一人ひとりのメンタリティに働きかけていく必要があります。

今般の論点案では、「2. 個々の企業の実態に応じた職務給の導入」の冒頭に、三位一体の労働市場改革の指針を取りまとめ、日本企業と外国企業の間にある賃金格差の縮小を目指すとの目標が掲げられています。こうした指針がめざす大目標（KGI）を国民に周知し、その実現に向けて各施策の数値目標（KPI）を定めていくことを求めます。

なお、内外の賃金格差に限らず、大目標（KGI）については、多くの国民が直感的に把握し、明るい将来展望を持つことができるシンプルなものであることが望ましいと考えます。

2. リ・スキリングのプログラムを不断に見直す PDCA を

リ・スキリングに関して、受講後の処遇改善などの効果計測・分析を行う旨を明示いただいたことは非常に重要です。DX・GX など、産業構造やビジネスモデルの大変革が生じている現在、成長分野への労働移動のために習得が期待されるスキルも刻々と変化していきます。そのため、リ・スキリングの効果をモニタリングし、より効果の高いカリキュラムとすることはもちろん、受講の補助上限などもきめ細かく見直していくことが必要です。リ・スキリングの具体的施策における PDCA サイクルの徹底を求めます。

3. 中小・小規模企業の収益力強化に向けた検討を

論点案の「4. 多様性の尊重と格差の是正」のなかで、「(2) 労務費の適切な転嫁を通じた取引適正化」は重要な課題であり、中小・小規模企業へと賃上げの流れを広めていくために、適切な転嫁を加速する取り組みに賛同いたします。

他方、人件費をコストではなく人への投資と捉える新しい資本主義の下では、労務費の転嫁が賃金水準の上昇だけにとどまらず、中小・小規模企業の収益力向上にまで展開していくことが求められます。

そのため、三位一体労働市場改革の指針に直接関わるものではありませんが、労務費の適切な転嫁の裏側にあるべき中小・小規模企業の競争力強化に向けて、事業承継や生産性向上をはじめとする諸施策を総合的に検討する場の設置を求めます。

以上